

# Hitoshi KOMATSU:

The Nature of Kyoto's Ohara  
Through the Gaze of the Artist- Hermit

# 小松均展

京都大原に生きた画仙人

— 自然をまなざす —

2026  
4.3(金) — 5.24(日)

□ 開館時間 = 午前10時—午後5時 (入館は午後4時30分まで)  
□ 休館日 = 月曜日 (ただし5月4日開館、7日「木」休館)  
□ 入館料 = 一般1200円 / 高大生800円 / 小中生500円  
\*20名以上団体は各2割引 / \*土曜日と5月5日は中学生以下無料 /  
\*日曜日午前はメセナにより中学生以下無料 /  
\*障がい者とその付添者1名は手帳の提示で半額 /  
\*キャンパスメンバーズ登録校学生は学生証提示で無料

□ 主催 = 山形美術館、山形新聞、山形放送  
□ 共催 = 山形県、公益財団法人山形県生涯学習文化財団  
□ 後援 = 山形市、東北芸術工科大学  
□ 企画協力 = 株式会社アートワン

山形美術館  
山形市大手町1-63 tel.023 622 3090  
www.yamagata-art-museum.or.jp

(大原風景) (部分) 昭和40(1965)年頃

# 京都 大原に生きた画仙人 小松均展 — 自然をまなざす

京都・大原で自給自足の生活を営みながら、自然に向かい、戦後の水墨表現に独自の画境を拓いた小松均の全貌を紹介する展覧会です。明治35(1902)年に山形県大石田町に生まれた小松均は、大正9(1920)年に画家を志して上京し川端画学校で日本画を学びました。大正13(1924)年の第4回国画創作協会展(国展)初入選をきっかけに、翌年京都に移り土田麦僊に師事しました。支援者の内貴清兵衛から、写実の徹底によって写実を超えた新しい絵画を創造すべき、との薫陶を受けた小松は、大原の生活の中に広がる風景と一体化するように、力強い墨線が埋め尽くす大画面の連作に取り組みます。その独自の画境は晩年の〈最上川〉や〈富士〉の連作へと展開し、小松の画業を代表するものとなりました。

一方で小松は、大原の四季折々の自然に加え、生き物や植物などの身近なモチーフも繰り返し描いています。そこには対象を直視して描く小松均の一貫した姿勢に加え、あらゆる生命に対する素直な眼差しや作画の信念や生活の息づかいが、より直接的に表れているといえます。

本展では、小松に魅せられた一人の人物が長年蒐集したコレクションのなかから、大原、最上川、富士や、牛、鯉、牡丹といった動植物など、初期から晩年までの作品約130点を展示します。自然を眼ざし、かたちを超えた精神までもを描き尽くそうとした孤高の画仙人・小松均の全貌を紹介する約25年ぶりの本格的な展覧会です。是非ご覧ください。



《牡丹図》昭和49(1974)年頃



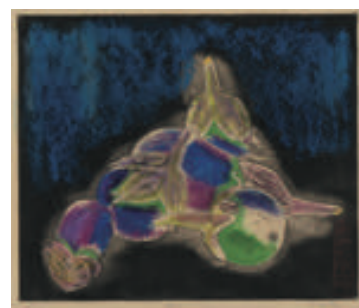
《大原女》昭和6(1931)年



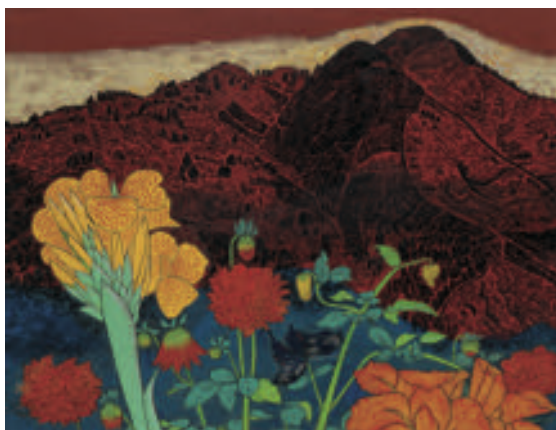
《標林之図》昭和5(1930)年頃



《鯉図》(部分)昭和6(1931)年頃



《茄子》昭和51(1976)年



《夕焼ノ山》昭和50年代



《牛図 さみだれ》昭和9(1934)年

## 関連イベント (要観覧料)

### ◆担当学芸員によるイチ推しトーク

4月4日(土)14:00-、5日(日)11:00-、19日(日)14:00-、5月3日(日)14:00-、17日(日)14:00-

### ◆かたらい鑑賞 day

4月16日(木)、5月14日(木)  
自由に会話を楽しみながらご鑑賞いただけます。

### ◆ワークショップ (要事前申し込み 山形美術館 023 622 3090)

小松均の「直写」の精神 / 技法の拡張を試みる山形在住の現代作家・土田翔氏による2つの体験ワークショップ

・4月25日(土)「山美にホームイン!」14:00-(約60分)  
土田翔氏の作品制作プロセス「ホームイン」を参加者の皆さんと行います。「ホームイン」は自然などの対象に限りなく近づき、そのものの本質を全身で感じ取る試みの一つです。美術館と一体になる非日常を楽しみましょう。  
※活動の様子は作家の映像作品の一部になる場合があります。

○対象:小学生以上15名

小学校低学年以下の方は保護者同伴でお申し込みください。  
注意事項:館内外を走ったり、寝転んだりします。汚れても良い服装で集合してください。軽い運動になるため、タオルや飲み物の持参をお勧めします。

・5月5日(火・祝)「直写(じきしゃ)体験!!」13:00-(約180分)

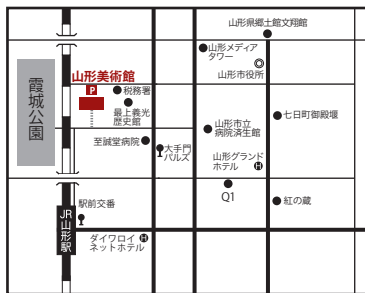
体全体で自然を感じて描く写生方法「直写」を体験します。描く道具も美術館前の公園を散策し、自然の中から探して自分たちで作ります。目で見るだけでなく、においをかぎ、音を聞き、体全体で感じたことを和紙に表していきます。少雨決行、荒天中止。

○対象:小学生以上10名

小学校低学年以下の方は保護者同伴でお申し込みください。  
注意事項:墨などの画材を使用しますので汚れても良い服装で参加ください。



《雪の最上川》昭和49(1974)年



## ■山形美術館への交通案内

徒歩 JR山形駅東口から徒歩15分

バス ベニちゃんバス「中心市街地」行き  
霞城公園前下車徒歩4分

車 山形自動車道山形蔵王I.C.から約15分  
山形美術館北側に無料駐車場がございます。  
美術館前の山形市大手町駐車場は有料です。

**山形美術館**

山形市大手町1-63 tel.023 622 3090  
www.yamagata-art-museum.or.jp

## 小松均展関連企画

「線に触れる 土田翔個展」@THE LOCAL

2026年4月1日(水)~4月11日(土)

描く対象に接近し、見つめ、描く。土田翔の「Extream 直写」の現在

主催 = 東北芸術工科大学

会場 = やまがたクリエイティブシティセンター Q1

山形市本町1-5-19/ 023 615 8099